

野党、14選挙区で先行 1人区、苦戦自民は9

共同通信の参院選情勢調査で、全国32の改選1人区のうち、14選挙区で無所属を含む野党系が先行している。3、4両日に実施した序盤情勢調査の8選挙区から拡大した。一方、自民党がリードするのは全体の半数程度から9選挙区に減り、苦戦している現状が浮き彫りになった。残る9選挙区で競り合っている。

1人区の勝敗は参院選全体の行方を左右する。2022年参院選では事実上の与野党一騎打ちは11選挙区にとどまり、自民が28勝4敗と大勝した。今回は立憲民主、日本維新の会、共産、国民民主の4野党が候補者調整を進め、17選挙区で自民と一対一で対決。一本化によって政権批判票の分散を防ぎ、一定の効果が上がっているもようだ。

野党は東北、四国で全勝する可能性がある。保守地盤が厚いとされる宮崎、鹿児島でも前に出る。新潟や長野、三重などでは序盤のリードを維持している。

接戦は福島、栃木、山梨、岐阜、和歌山、岡山、佐賀、熊本、大分。自民はこのうち半数以上の選挙区で優位だったが、追い上げを許した。

自民が有利なのは、群馬、富山、石川、鳥取・島根、山口、長崎。主要野党3党が候補者を擁立した福井と滋賀、4党が乱立した奈良でも混戦からやや抜け出している。野党のすみ分けが不調に終わった影響とみられる。

自民、複数区取りこぼしも 参政食い込み、争い激化

共同通信の参院選情勢調査によると、全国13の改選複数区で各党候補の争いが激化し、自民党が取りこぼす可能性が出てきた。京都（改選数2）では日本維新の会に先行を許し、共産党と2議席目を競っている。静岡（同2）でも当選圏に食い込む参政党と争っている。

自民は2人を擁立した北海道（同3）、東京（改選数6、欠員補充1）で1議席を固めつつあるが、2議席目は難しい情勢だ。千葉（改選数3）は1議席目についても国民民主党や参政と激戦になっている。茨城（同2）、埼玉（同4）、広島（同2）では先行するものの、神奈川（同4）、愛知（同4）、大阪（同4）、兵庫（同3）、福岡（同3）では激しい戦いになっている。

立憲民主党は北海道、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知で1議席が視野に入る。2人を擁立した東京では最終議席を自民、国民と争う。

公明党は擁立した選挙区候補7人全員の当選を掲げるが、先行するのは東京のみ。その他は当選圏入りで競り合う構図。維新は京都の他、大阪で2議席維持を狙う。地盤の関西圏以外では議席確保は見通せない。

共産は東京で議席を得る可能性があり、京都でも獲得を目指す。国民は静岡が盤石。東京と愛知で当選圏に入る。

参政は東京と大阪で議席を確保する勢いだ。北海道、茨城、埼玉、神奈川、愛知、静岡、兵庫、広島、福岡でも議席争いに絡む。れいわ新選組と社民党は厳しい戦いだ。

無党派層、立民がトップ 比例代表の投票先

共同通信の参院選情勢調査で「支持政党なし」と答えた無党派層は全体の16・7%に上った。この回答者に比例代表の投票先を聞いたところ、1位は立憲民主党15・0%、2位は国民民主党と参政党がともに11・3%、4位は自民党9・7%となった。自民が無党派層の支持でも苦戦している実態が浮かんた。政党を上回る諸派もあった。

5位以下の政党は、れいわ新選組5・5%、共産党4・8%、日本維新の会4・7%、日本保守党4・4%、社民党3・0%、公明党1・7%の順。諸派は、いずれも政治団体のチームみらい3・6%、NHK党1・7%、再生の道1・4%などだった。

調査方法が異なるため単純比較はできないが、前回2022年同時期調査の比例投票先は、1位が自民15・9%、2位が立民8・3%、3位が維新6・2%だった。

今回調査で「まだ決めていない」は20・6%となった。「支持政党なし」と答えた無党派層の割合を年代別で見ると、40代が23・5%で最も高かった。10代が18・9%、20代が21・1%、30代が21・2%、50代が20・4%、60代が17・3%、70歳以上が10・5%だった。

調査の方法

全国の有権者を対象に13、14両日、固定、携帯電話にコンピューターで無作為に発生させた番号をかけるRDD（ランダム・デジット・ダイヤリング）法で実施した。コンピューターで電話をかける自動音声応答通話（オートコール）方式を採用。携帯電話にも電話し、同意した人にショートメッセージサービス（SMS）を使い質問に答えてもらった。記事の「〇〇党支持層」は、調査で「〇〇党を支持する」と答えた人を指す。

1選挙区当たり固定電話と携帯電話で最少でも計600件の回収を目標にし、全45選挙区で計4万3711件の回答を得た。

北海道

▽残る1枠巡り激戦

再選を目指す立民現職勝部が先行し、自民現職高橋が追う展開。残る1枠を巡り参政新人田中、国民新人鈴木、自民現職岩本が激しく競り合う。

勝部は立民支持層の7割を押さえた。60代以上の支持が厚く、共産支持層にも食い込む。高橋は自民支持層の3割しか固めていないが、派閥裏金事件の関係で推薦を見送った公明の支持層の2割が流れている。

田中は参政支持層の9割を固め、自民、国民支持層や無党派層の一部に浸透する。鈴木は国民支持層の7割をまとめ、特に20代と30代から支持を集める。岩本は推薦を受ける公明支持層の5割を確保したが、自民支持層では2割にとどまっている。

いずれも新人の共産宮内、保守小野寺、れいわ野村、維新オカダは苦しい。

岩 手

▽横沢、優勢のまま

立民横沢が幅広い層に浸透し、再選に向けて優勢を保つ。自民平野は思うように支持が広がっていない。横沢は旧自由を率いた小沢一郎氏（衆院岩手3区選出）の支援を受け、達増拓也知事らと街頭演説を重ねる。立民支持層の9割近くを押さえ、共産などの支持層も着々と取り込む。

平野は公明支持層の8割弱を固めたが、自民支持層は6割にとどまる。自民が強い沿岸部を中心に引き締める。無党派層への浸透も課題だ。

参政及川は支持拡大に躍起だが厳しい。

山 形

▽芳賀先行変わらず

無所属の現職芳賀が先行し、自民の新人大内が懸命に追っているものの、差は依然詰まっていない。地元民放アナウンサーだった芳賀は知名度が高く、立民支持層の8割、国民支持層の7割を固め、自民支持層の一部にも食い込む。

大内は無党派層からの支持で芳賀に大きく後れを取る。票田の山形市は組織の引き締めが奏功し、低調だった序盤から巻き返した。他の都市部での戦いが鍵を握る。

参政佐藤は高齢者層などの支持が伸び悩み、共産三井寺は苦しい。

秋 田

▽自民中泉伸び悩む

無所属寺田が県全域に浸透し、支持が伸び悩む自民中泉をややリードする。野党系の寺田は陣営の中心を担う立民の支持層の9割を固め、他の野党支持層も手堅く取り込んでいる。無党派層は4割を押さえた。

振り返りを目指す中泉は、自民支持層を6割しかまとめられていない。大票田の秋田市で寺田に水をあげられており、終盤戦で街頭演説を集中させて巻き返しを図る。

参政佐藤は10代～30代で他候補を上回る支持を得るが、無党派層にやや苦戦している。

青 森

▽福土、混戦抜ける

立民福土が自民滝沢を一步リードし、混戦状態から抜け出した。元民放アナウンサーの福土は青森市や弘前市で優位に立ち、滝沢の票田の八戸市などにも食い込む。立民の田名部匡代参院幹事長ら地元選出議員の支援も受け、党支持層の9割近くを固めた。

滝沢は自民、公明支持層をそれぞれ6割しか固め切れておらず、懸命に組織の引き締めを図る。性別では男性からの支持で福土に後れを取る。

参政加藤は40代以下に浸透している。共産荻野は厳しい。

宮 城

▽石垣安定した戦い

再選を期す立民石垣が安定した戦いを進め、リードを保つ。自民石川と参政ローレンスが追う展開だ。

石垣は立民支持層の9割弱、共産支持層の8割近くを固めた。大票田の仙台市で街頭演説を繰り返し、無党派層の4割からも支持を集める。

石川は自民支持層の6割しか固められていない。公明支持層は4割にとどまり、3割が石垣に流れる。参政ローレンスは10代～30代の支持が厚く、序盤より勢いがある。

れいわ石井は苦戦している。

福 島

▽石原僅差でリード

立民新人の石原は、4選を目指す自民森と横一線で並んでいたが、僅差でリードした。森は票田の福島市など都市部で巻き返しを狙っており、最終盤までもつれそうだ。

石原は立民支持層の9割弱を固めた。候補を取り下げ支援に回った共産の支持層もまとめつつある。森の地盤であるいわき市への浸透を図る。

森は公明から推薦を得られない中、同党支持層の8割を確保した。ただ自民支持層は6割で組織の引き締めが課題だ。

参政大山は40代、50代に強い。

茨 城

▽小沼と桜井横一線

改選2議席を巡り、自民現職の上月がややリードを保つ中、立民現職の小沼を参政新人の桜井が猛追し、横一線で並んだ。無党派層の取り込みが勝敗の鍵を握る。

上月は2期12年の実績をアピール。自民支持層の6割弱、公明支持層の7割近くを固め、さらなる引き離しを図る。

再選を目指す小沼は、小川淳也幹事長ら党幹部の応援を受け、立民支持層の7割強を押さえた。一方、支援に回った国民支持層への浸透は依然として2割弱にとどまる。

桜井は参政支持層の9割弱をまとめた。国民やれいわの支持層からも4割弱を取り込み、勢いづく。維新北崎と共産高橋の2新人は苦しい。

栃 木

▽高橋、板津が拮抗

自民現職の高橋を追う立民新人の板津が差を縮めて、拮抗（きっこう）する展開になった。参政新人の大森も懸命に追い上げる。

3選を期す高橋は自民支持層の6割強、公明支持層の6割弱をまとめた一方、無党派層への浸透は1割にとどまる。

板津は立民支持層の8割を固めた他、無党派層からも3割の支持を得た。党幹部らが連日応援に入り、さらなる票の掘り起こしを狙う。

大森は参政支持層の9割、国民支持層の3割強を押さえた。共産新人の福田は厳しい戦い。

群 馬

▽青木、清水に迫る

自民現職の清水に対し、参政新人の青木が激しく追い上げて迫る。立民新人の河村が続く。

清水は県内各地で集会を開き、自民、公明支持層のそれぞれ6割を得た。70歳以上の支持が厚い。さらに組織固めを徹底し、逃げ切りを図る。

青木は参政支持層をほぼまとめ上げた。国民支持層の4割強、自民支持層の1割も取り込む。

河村は野田佳彦代表らの応援を受け、立民支持層の8割弱を押さえたものの、国民支持層は1割に満たない。共産新人の高橋は広がりを欠く。

東 京

▽川村ら4人は安定

非改選の欠員1と改選6の計7議席を争う合併選挙に32人が立候補した。公明川村、参政さや、自民鈴木、共産吉良が安定した戦いで先行。国民牛田、立民塩村が続く。立民奥村政佳、自民武見、国民奥村祥大が激しく追い上げ、当選圏入りを目指す。

自民の2人が固めた支持層はともに2割にとどまる。鈴木は知名度を生かし、無党派層に狙いを定める。武見は当落線上にいとみて、徹底的に組織票を固めるよう指示を出した。川村は公明支持層の8割強を固め、堅実な戦いぶりを見せる。

さやは好調な党の勢いに乗り、無党派層に最も浸透している。吉良は、立民やれいわの支持層の一部にも食い込む。

立民と国民はそれぞれ2人を擁立したが、いずれも支持層を固めきれておらず、票が割れている。保守小坂、維新音喜多、れいわ山本は必死の戦い。無所属山尾、再生吉田、社民西、みんな酒井は厳しい。

埼 玉

▽3、4議席目激戦

改選4議席を巡り、自民古川と立民熊谷の現職2人が一步リードの状態を維持する。残る2議席を懸け、国民江原と参政大津の2新人と公明現職の矢倉の計3人による激戦となっている。共産現職の伊藤は伸び悩む。

4選を期す古川は、60代以上の支持が厚いものの、自民支持層は5割にとどまる。大津に1割強を取り込まれているのが懸念材料だ。熊谷は立民支持層の7割弱を押さえた。県内選出の枝野幸男元代表との距離の近さをアピールし、無党派層にも一定程度浸透する。

江原は40代以下の支持が強い。元県知事の上田清司参院議員や党幹部が連日応援に入り、政権批判票の受け皿を狙う。大津は好調な党勢を背景に、幅広い年代から支持を得る。3選を目指す矢倉は公明支持層の8割強をまとめた一方、推薦を受ける自民の支持層は1割に満たない。

れいわ桜井、維新龍野、社民高井の3新人は厳しい戦い。

千 葉

▽長浜やや先行維持

改選3議席の争い。立民現職の長浜はやや先行する状況を維持し、国民新人の小林、自民現職の石井が続く。参政新人の中谷は3議席目に滑り込もうと激しく追いつける。自民現職の豊田は必死に遅れを取り戻す。

4選を期す長浜は長年の盟友、野田佳彦代表が地盤とする船橋市の周辺地域で強さを見せる。小林は無党派層に浸透し、20～30代の支持は他候補を大きく引き離す。玉木雄一郎代表ら党幹部が連日応援に駆け付け、支持拡大に余念がない。

石井は県南部で堅調に支持を集め、自民支持層でも豊田との差を広げる。豊田は街頭活動を重ねるものの、無党派層への支持が広がっていない。

中谷は参政支持層の8割強を固め、自民支持層の1割強も得た。共産白石、れいわ山本、維新石塚の3新人は苦しい。

神奈川

▽最終盤まで混戦に

改選4議席の争い。現職の強みを生かす立民牧山に対し、国民籠島、自民脇、参政初鹿野の3新人が横一線で追う展開が続く。公明現職の佐々木も僅差で続き、最終盤まで混戦になりそうだ。

牧山は立民支持層の7割をまとめた。女性からの支持が厚い。籠島は国民支持層の8割弱を固め、無党派層や自民支持層にも一定程度浸透する。

脇が固めた自民支持層は5割に届いておらず、無党派層へのアピールも後れを取る。初鹿野は自民支持層の1割強を取り込む他、国民、れいわ支持層の一部からも支持を得る。

佐々木は斉藤鉄夫代表ら党幹部の応援を連日受け、巻き返しに懸命だ。推薦を出した自民の支持層や、無党派層への広がりが鍵を握る。

共産新人の浅賀は共産支持層を押さえ、追い上げを図っている。れいわ新人の三好は広がりを欠く。維新千葉、社民金子の2新人らは引き離されている。

長野

▽羽田を藤田が追う

立民現職の羽田がやや先行し、逃げ切りを図る。自民新人の藤田が懸命に追い上げ、参政新人の竹下は挽回に躍起だ。

羽田は長妻昭代表代行ら党幹部と街頭で支持を呼びかける。立民、共産支持層の8割、無党派層の4割近くを取り込んだ。

藤田は「古い政治に終止符を打つ」と自民の刷新を打ち出す。公明支持層の7割をまとめたが、自民支持層は依然6割にとどまる。小泉進次郎農相らの応援を受け、無党派層への浸透を目指す。

竹下は参政支持層の7割台を押さえた。

新潟

▽打越がややリード

立民現職の打越がややリードし、自民新人の中村が激しく追う。参政新人の平井も続く。

打越は立民支持層の9割近く、共産支持層の8割を固め、無党派層の4割台を取り込んだ。政権批判票を集約し、さらなる支持拡大を狙う。

五輪競泳メダリストの中村は自民、公明支持層の7割を押さえた。ただ無党派層からの支持獲得は2割弱。アスリート仲間の応援を受け、無党派層への浸透に懸命だ。

平井は参政支持層の9割、国民支持層の3割近くをまとめた。

山梨

▽後藤猛追、激戦に

3選を期す自民現職の森屋を国民新人の後藤が猛追し、横一線の激戦を繰り広げている。

森屋は石破茂首相らの応援を受け、県内全域で演説会を開催。総力戦を展開し、自民支持層の7割弱、公明支持層の7割をまとめた。

後藤は元県知事の知名度を生かし、国民支持層の7割強を固めた上、無党派層の4割に浸透。玉木雄一郎代表ら党幹部が相次いで入り、さらなる支持拡大を図る。

参政永田、共産早田の2新人も追い上げるものの、伸び悩む。

富山

▽堂故を庭田が猛追

自民現職の堂故が組織戦を展開し、ややリードする状況を保ち、国民新人の庭田が猛追する。

3選を狙う堂故は公明支持層の9割をまとめたが、自民支持層は6割と伸び悩んでおり、分厚い保守地盤にほころびが見える。

庭田は国民支持層の8割近くを固めた。候補者一本化の効果が出始め、立民支持層も5割超に拡大。無党派層の支持では堂故を大きく先行する。

参政田保、共産坂本は支持層を押さえたが、広がりを欠く。N党佐藤は苦しい。

石川

▽宮本がリード保つ

自民現職の宮本が組織固めを徹底し、4選に向けリードを保つ。自民支持層の7割近く、公明支持層の8割を固めた。ただ自民の鶴保庸介参院議員による能登半島地震を巡る失言が被災地の反発を招いており、選挙戦への影響は不可避だ。

国民浜辺は支持層の8割近く、立民支持層の5割を確保した。無党派層の支持は3割に上り、宮本を上回る。自公支持層も1割超を取り込んだ。

参政牧野は支持層の9割、維新支持層の3割をまとめた。共産村田は厳しい。

福 井

▽滝波優位揺るがず

3選を目指す自民現職の滝波の優位は揺るがない状況だ。強固な保守地盤を背景に団体の引き締めを進め、自民支持層の7割、公明支持層の6割近くをまとめた。県内全域でも支持を広げる。

5新人が乱立する野党は苦戦する。国民山中は支持層の7割を固めた。無党派層で滝波に先行を許し、政権批判票の集約が進んでいない。

参政千田は支持層以外への広がりが課題。立民かずえちゃんは支持層の4割しか固めていない。共産山田、保守大坂は伸びていない。

静 岡

▽榛葉が独走状態に

国民榛葉が5選に向け独走状態に入った。2議席目は自民現職の牧野が一步リード。参政松下が激しく追う。

榛葉は幹事長の知名度を生かし県内全域に加え、幅広い年代に浸透する。国民支持層の9割を固め、自民や立民支持層にも食い込む。無党派層でも他候補を圧倒し、つけ入る隙を与えていない。

4選に挑む牧野は推薦を受ける公明支持層の6割超をまとめた。ただ自民支持層は5割にとどまっており、組織固めを急ぐ。無党派層の支持も1割と伸び悩んでいる。

松下は参政支持層の7割を押さえた。無党派層への支持拡大を狙い、街頭演説を重ねる。共産鈴木は厳しい。

岐 阜

▽若井、服部が接戦

自民若井、立民服部による新人同士の接戦が続く。参政新人の瀬尾が追い上げる。

若井は企業・団体回りを中心に組織固めを進める。公明支持層の8割をまとめたが、自民支持層は6割弱と伸び悩む。服部は立民支持層の8割を押さえ、無党派層の支持で他候補に先行。2割にとどまる国民支持層の取り込みが課題となる。

瀬尾は参政支持層の9割を固めた上、自民支持層の2割近くに浸透し、国民や維新支持層にも食い込む。共産三尾、N党小池は苦戦する。

三 重

▽小島、リード拡大

立民新人の小島がリードを広げ、逃げ切りを図る。3選を狙う自民現職の吉川は苦戦を強いられている。

小島は県内全域に幅広く浸透。立民支持層の9割近くを固め、自民支持層の一部も取り込む。無党派層の支持も4割を超え、吉川に先行する。

派閥裏金事件が尾を引く吉川は、推薦を得られなかった公明支持層の7割近くをまとめた。だが自民支持層を5割しか固め切れていない。

参政難波は支持層を押さえるが伸び悩む。N党橋本は浸透していない。

愛 知

▽残る2議席は激戦

改選4議席のうち、立民現職の田島と国民新人の水野は優勢を維持する。自民現職の酒井は伸びを欠き、残る2議席を巡り参政新人の杉本、酒井、公明現職の安江が激しく争う展開になっている。

再選を目指す田島は官公労働組合の組織力を生かし、立民支持層の7割近くを押さえた。高年層の支持も厚い。全トヨタ労働組合連合会の支援を受ける水野は国民支持層の6割をまとめ、若年層でも優位に立つ。

杉本は参政支持層の8割を固めた。自民支持層の2割近くに食い込み、無党派層の支持も集める。3選を期す酒井は地盤の三河地域を中心に支持を広げるが、自民支持層の5割にとどまる上、無党派層の取り込みは進んでいない。再選を狙う安江は公明支持層の9割を固めた以外、広がりはない。

共産須山、れいわ辻は支持層をまとめたが、無党派層への浸透を欠く。諸派田中、維新広田、社民大西は伸び悩む。

滋 賀

▽宮本逃げ切り図る

自民新人の宮本が、支持層の7割近くを固めて他候補にやや先行、逃げ切りを図る。無党派層に浸透する国民堀江が猛追する。

自民は石破茂首相や党幹部を相次いで宮本の応援に入れ、組織を引き締める。公明支持層もほぼ押さえた。無党派層を取り込めるかどうかが焦点。堀江は立民、国民支持層にアピールし切れていない。参政中田は自民、維新など各党支持層に食い込み、懸命に追う。

維新岡屋は支持層をまとめられず厳しい。共産佐藤も苦しい展開。

大 阪

▽2新人軸の混戦に

改選4議席を巡る混戦が続く。軸となるのは維新佐々木と参政宮出の新人女性で、自民新人柳本、維新新人岡崎、公明現職杉を交えて激しく争う展開となっている。

維新は本拠地大阪での2議席維持に向けて、票の割り振りが焦点。支持層は佐々木が4割、岡崎が2割強とやや偏りが生じた。佐々木は無党派層にも浸透、自民支持層も一部取り込む。

宮出は中年層までを中心に支持が厚く、無党派層で優位に立つ。連日の街頭活動で露出を増やし、国民、維新の支持層にも食い込む。

柳本は自民支持層の4割しか固められておらず、党幹部の投入で引き締めを図る。岡崎は終盤にかけて党の全面支援を受け、支持を掘り起こす。杉は公明支持層の9割を押さえた。

国民渡辺は30代以下の支持を集める一方、支持層は6割を固めるにとどまる。共産清水は無党派層への浸透が課題。立民橋口は厳しい。

和歌山

▽望月、二階が拮抗

世耕弘成前自民参院幹事長が支援する無所属望月と、自民新人の二階が拮抗（きっこう）した争いを続ける。

望月は自民支持層を切り崩すほか、立民、国民支持層のそれぞれ4割弱に浸透する。二階は無党派層に支持を広げつつあるものの、自主投票の公明支持層は2割しか取り込めていない。参院予算委員長を辞任した鶴保庸介氏による能登半島地震を巡る失言の影響を食い止めようと躍起だ。

参政林元は支持層を固め、懸命に追う。共産の前、立民と一本化した維新浦平は苦戦する。

京 都

▽維新初議席へ激戦

維新の新人新実と、いずれも現職の共産倉林、自民西田による激戦。新実が支持層の7割超に加えて自民支持層の2割を取り込み、無党派層にも浸透。前原誠司共同代表が全面支援し、京都での初議席を狙う。

倉林は支持層をほぼ固めた。無党派層にどこまで訴えを広げられるかが焦点だ。西田は支持層を新実以外にも奪われ、自民支持が5割に届かない。公明支持層への浸透も5割弱にとどまる。街頭では積極財政の持論を繰り返し訴える。

参政の新人谷口は好調な党勢を受けて徐々に支持を広げる。立民山本は支持層以外の伸びを欠く。国民酒井、れいわ西郷は懸命に追う。

奈 良

▽堀井やや先行維持

若干のリードを保つ自民堀井を、国民杉本ら新人4人が追い上げる。堀井は公明支持層の7割を固めたが、自民支持層は6割に届かない。さらなる引き締めに向けて県内を広く回る。

「納税者目線」を訴える杉本は、30～40代の支持が厚い。主に大票田を巡り、無党派層の2割近くに浸透する。維新平は党幹部が相次ぎ応援に入り、支持を呼びかける。参政黒川、立民川戸は支持層のそれぞれ8割超を固め、交流サイト（SNS）で頻繁に発信。共産太田も必死に追う。

兵 庫

▽2枠巡り5人競る

無所属の新人泉は知名度を生かして広く浸透、一歩リードの状態を保つ。残り2枠を巡って自民加田、参政藤原、公明高橋、国民多田、維新吉平の5人が横一線の混戦を繰り広げる。N党立花が続く。

泉は全域で街頭活動を展開。県連が推薦する立民の支持層を6割強固めた。無党派層は3割を取り込み、他を引き離す。

加田は自民支持層への浸透が4割にとどまる。高市早苗前経済安全保障担当相ら保守系議員が連日応援に入る。

藤原は参政支持層のほか国民、自民両支持層にも食い込む。高橋は公明支持層のほぼ9割、多田は国民支持層の5割をそれぞれ押さえた。吉平は吉村洋文代表の応援をたびたび受けるが、支持層をまとめ切れていない。

立花は幅広い年代から支持を集める。

鳥取・島根

▽出川、鳥取で独走

自民新人の出川が支持層を着実に固め、無党派層にも浸透。鳥取で独走する。補欠選挙も含め、衆院島根1区で野党に連敗した余波が懸念された島根でも、自民支持層の7割を取り込んで優位を保つ。自民は出川が隣県で活動する期間も、国会議員や地方議員による支持固めを徹底する。

国民中山は支持層の6割を押さえた一方、立民支持層は各候補に分散してまとめ切れていない。参政倉井は支持層に加えて無党派層の一部にも支持を広げる。共産亀谷らは厳しい。

山 口

▽自民北村先行続く

自民現職の北村が4選に向けて先行する状況が続く。保守地盤を固め切ろうと各地で個人演説会を開催、支持層の6割超を押さえた。推薦を受けていない公明支持層でも5割に浸透。無党派層への支持拡大が課題だ。

参政新人の山崎は支持層の8割超を固めた。自民や立民、国民の支持層も一部取り込んで追い上げを図る。使用済み核燃料を保管する中間貯蔵施設の建設計画に反対する無所属新人の戸倉は、県東部の地盤を中心に支持を広げる。国民新人の関谷は伸びを欠く。

岡 山

▽自・立一転激戦に

自民新人小林がやや先行した序盤から一転、追い上げた立民国友との激戦となっている。態度未定の無党派層がなお3割弱おり、取り込みの成否が鍵を握りそうだ。

小林は自民、公明両支持層でいずれも6割を固めた。大票田の岡山、倉敷両市で支持拡大を狙うものの、参政広森の躍進に阻まれている。

国友は支持層の8割超を押さえる一方、国民支持層の取りこぼしが目立つ。立民は野田佳彦代表らを投入し、てこ入れを図る。広森は国民支持層の4割超に食い込む。

広 島

▽西田が一步リード

改選2議席の争いで、自民の新人西田が一步リードする。3選を期す立民の現職森本を参政新人小石が猛追、激しく競り合っている。

大規模買収事件を受けた2021年再選挙で涙をのんだ西田は、組織力を生かした戦いを展開。自民支持層の6割を押さえた。女性からの支持も集める。

森本は連合の後押しを受けて立民支持層の8割をまとめ、無党派層にも浸透する。国民からは県組織の枠組みで支援を受けるものの、支持は広がっていない。

小石は街頭演説を重ねて露出を増やし、参政支持層の9割を固めた。維新、国民支持層にも食い込む。

香 川

▽原田一步抜け出す

国民新人の原田が、自民現職三宅との競り合いから一步抜け出した。原田は年代別、地域別の支持でいずれも三宅を上回る。追う三宅だが、30～40代では参政小林にも後れを取る。

自民支持層は3割近くが原田を推す。立民側が支援者に原田への「緩やかな支援」を呼びかけた効果もあってか、態度未定が多かった立民支持層も流れつつある。

三宅は公明支持層を6割固めたが、無党派層では伸び悩む。小林は遊説を重ねて支持を伸ばす。共産長尾らは厳しい。

愛 媛

▽永江、リード保つ

知名度の高い現職の無所属永江が、全域で浸透しリードを保つ。立民支持層の9割超を固めたほか、無党派層の6割弱からも支持を得る。自民支持層も3割弱を取り込んだ。

自民の新人上野は、小泉進次郎農相や小渕優子組織運動本部長らの応援を受けて浸透に躍起。だが、支持層はまとめ切れず、公明支持層も5割弱を押さえるにとどまる。中高年層からの支持で永江に後れを取る。

参政原田は20～40代に人気がある。国民支持層の一部にも浸透する。

徳島・高知

▽広田徳島でも浸透

無所属現職の広田は、自民新人の大石が先行した徳島でも徐々に浸透し、激戦から抜け出しつつある。選挙戦中盤から徳島県内全域を選挙カーで回り、知名度向上に努める。両県で野党各党の支持層を幅広く押さえるほか、高知では無党派層の支持が5割を超えた。

大石は地盤の高知で党の足並みがそろわず、広田に大きくリードを許す苦しい展開。支持層は高知で2割超が広田に流れる。保守層の厚い徳島では、広田だけでなく参政金城にも支持層を取り込まれている。

福岡

▽現新5人競り合う

現新5人が改選3議席を巡り激しく競り合う。拮抗（きっこう）する自民現職の松山、立民現職の野田、参政新人の中田に、公明現職の下野、国民新人の川元が肉薄する。

党参院幹事長の松山は自民支持層を固め切れておらず、組織引き締めが喫緊の課題だ。野田は無党派層の支持でややリード。立民支持層の8割弱を押さえ、社民支持層の一部も取り込んだ。中田は幅広い年代に浸透しており、自民、国民支持層の一部が流れている。

下野は公明支持層をほぼ固めたが、推薦を受ける自民支持層からの支持は伸び悩んでいる。川元は20～30代の支持が高い。都市部で街頭演説を重ね、浮動票の掘り起こしを狙う。

保守森、れいわ沖園は支持拡大を急ぐ。共産山口、維新伊藤、社民那須は苦しい。

佐賀

▽自立デッドヒート

立民新人の富永が序盤の劣勢から追い上げ、3選を目指す自民現職の山下とデッドヒートを繰り広げている。60～70代からの支持は拮抗（きっこう）する。

山下は自民、公明支持層の支持が7割程度にとどまっており、一部が富永に流れた。県内各団体からの推薦を背景とした組織力をフル回転させ、票固めを急ぐ。

富永は県東部を中心に全県で支持を伸ばした。立民、共産支持層の8割強を固め、子育て世代への支援を訴えて無党派層の4割弱にも浸透した。参政下吹越らは苦しい。

長崎

▽深堀が懸命に追う

自民現職の古賀を国民新人の深堀が懸命に追う。古賀は自民支持層の7割、公明支持層の7割強を固めた。石破茂首相や小泉進次郎農相らが連日応援に入り、支持固めを進める。女性からの支持で他候補を圧倒する。

深堀は地盤の長崎市を中心に支持を広げ、県北地域でも差を縮めた。20～40代や無党派層の支持では古賀を上回る。国民支持層の7割をまとめたが、連携する立民、社民支持層への浸透は道半ばだ。

参政黒石や共産筒井らは厳しい戦い

大 分

▽吉田、白坂が激戦

立民元職の吉田と自民現職の白坂が引き続き、大激戦を繰り広げている。それぞれ党幹部や閣僚らを相次いで投入し、底上げを狙う。

野党共闘体制で臨む吉田は立民支持層の9割弱を固め、無党派層の支持で他候補に差をつける。共産、社民支持層もまとめつつあるが、国民支持層は固め切れていない。

白坂は県南東部で支持を広げ、大票田・大分市でも吉田に迫る。公明支持層は8割を固めたが、自民支持層の支持は7割弱にとどまる。参政野中では懸命に追う。

宮 崎

▽山内を長峯が猛追

立民新人の山内がやや先行し、3選を目指す自民現職の長峯が猛追している。

事実上の野党統一候補の山内は、立民支持層をほぼ固めた。共産、社民支持層の8割をまとめ、自民支持層の一部も取り込んだ。一方で国民支持層への浸透が課題だ。

長峯は公明支持層の8割をまとめたが、自民支持層からの支持は6割にとどまる。地元の都城市周辺や郡部でやや先行するものの、大票田の宮崎市を含む都市部で山内の後塵（こうじん）を拝している。参政滋井らは伸び悩む。

熊 本

▽鎌田、馬場横一線

主要野党と協力する立民新人の鎌田が、序盤で先行を許していた自民現職の馬場を猛烈に追い上げ、横一線の展開に持ち込んだ。激しく競る両者を、参政新人の山口が懸命に追いかける。

鎌田は立民支持層の8割強、共産支持層の9割を固めた。無党派層も4割近くを取り込み、支持拡大に弾みをつける。

馬場は自民、公明支持層の支持が6割台にとどまり、組織引き締めが急務だ。70歳以上の支持は他候補を上回る。

山口は現役世代から手厚い支持を受ける。

鹿児島

▽尾辻が優位を保つ

自民重鎮の三女で立民が推薦する無所属新人の尾辻が無党派層に広く浸透し、全県で優位を保つ。自民元職の園田は追い上げを図るが、組織をまとめ切れていない。

尾辻は立民支持層の8割を固めた。立民との候補者調整で尾辻に一本化した共産支持層の6割もまとめた。自民支持層の3割弱にも食い込む。

園田は公明支持層の7割に浸透したが、自民支持層は5割にとどまる。参政の牧野は参政支持層の8割、国民支持層の4割超に浸透し追う展開。40代以下の支持が厚い。

沖縄

▽高良を奥間が追う

米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対する「オール沖縄」が支援する無所属新人高良がやや先行し、自民新人奥間が激しく追い上げる。

高良は立民、共産、社民支持層の8～9割をまとめた。選対本部長を務める玉城デニー知事と県内を回り、知名度向上を図っており、無党派層への浸透も5割超と他を圧する。

奥間は自民支持層の7割弱、公明支持層の8割強を固めたが、無党派層の支持が伸び悩む。参政和田らは広がりを欠く。